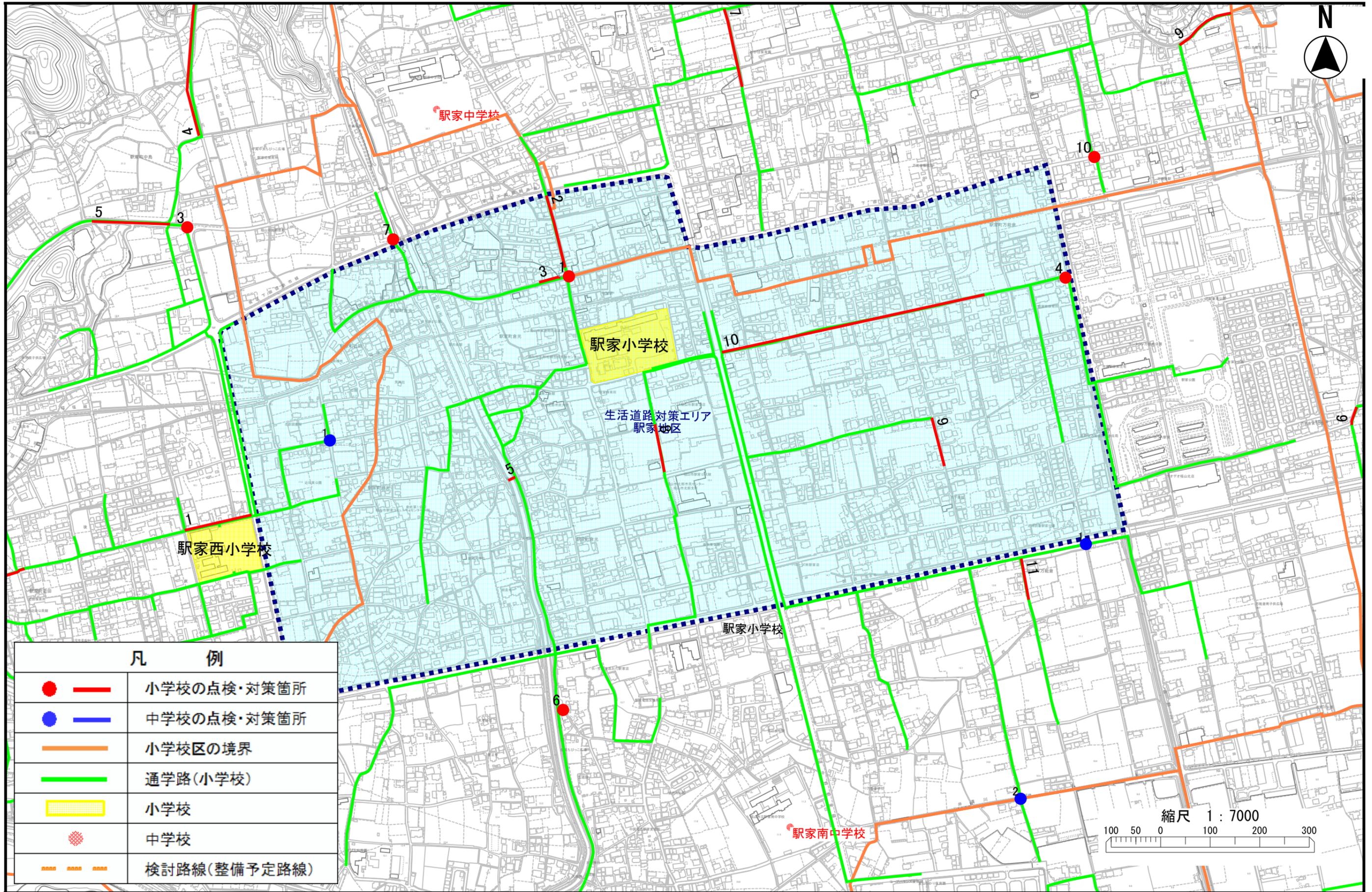


駅家小学校



凡 例

	小学校の点検・対策箇所
	中学校の点検・対策箇所
	小学校区の境界
	通学路(小学校)
	小学校
	中学校
	検討路線(整備予定路線)

縮尺 1 : 7000
100 50 0 100 200 300

学校名	位置図 番号	通学路 点検年度	危険内容	通学路対策予定内容/できない理由	対策状況 ステータス	備考
駅家小	1	2022	横断歩道の待避スペースが狭く、赤信号で待っている際に、車がすぐ近くを通過していくため危険である。	【学校・地域】 引き続き、見守りボランティアの方と連携して、声掛けを行っていく	経過観察	
駅家小	2	2022	道幅が狭く、車が児童のすぐ近くを通過していくため、危険である。	【市】 グリーンベルトの設置	全て対応完了	
駅家小	3	2022	道幅が狭く、車が児童のすぐ近くを通過していくため、危険である。児童の歩く場所を確保してほしい。	【市】 路側帯のカラー化 【学校・地域】 引き続き、見守りボランティアの方と連携して、声掛けを行っていく	全て対応完了	【市】 路側帯のカラー化（地域から要望があり、対策内容追加）
駅家小	4	2022	土手の川幅が狭く、児童が歩行中だと離合が難しい。道幅を広げてほしい。	【学校・地域】 保育園との連携	対策内容決定	
駅家小	5	2022	橋が老朽化しており、壊れかけている。補強工事の必要あり。	【県】→【市】 橋の修繕	全て対応完了	【県】 市道橋であるため市で対応
駅家小	6	2022	道の端が崩れかけており、児童が歩行すると危険である。	【学校・地域】 児童生徒への交通安全教育の実施	全て対応完了	
駅家小	7	2022	県の管理地であり、民家の畑でもないのに無断で使用している。木の葉が伸びて危険である。	【県】 不法占有者への指導	全て対応完了	【県】 歩道に張り出した木の伐採完了
駅家小	8	2018	長い距離にわたって路肩が崩れており、これに伴って、水路内の石垣も崩壊の恐れがあり、歩行時に危険を感じる。	【市】 舗装補修の実施（部分補修） 石積擁壁の改修	対応中	2018年度(平成30年度)からの継続[2020点検箇所番号10]
駅家小	9	2018	幅員が極端に減少している区域であるにも関わらず、この場所の水路に蓋がなく、歩行中に自動車が通過する際は、事故が起こる可能性が非常に高い。	【市】 水路への蓋掛け	全て対応完了	2018年度(平成30年度)からの継続[2020点検箇所番号15]
駅家小	10	2018	幅員が狭い上に蓋のない溝に囲まれており、歩行時に危険を感じる。	【市】 水路への蓋掛け 外側線の設置	全て対応完了	2018年度(平成30年度)からの継続[2020点検箇所番号27]
駅家小	11	2023	道路幅員が狭く、児童たちは交通事故の恐怖を感じながら登下校をしている。南には介護施設があり、送迎用の車両が絶え間なく往来している。最近宅地化が進んでいる地域であり、地域住民の車両も増えた。児童の通学の安全確保のため、道路の拡幅を要望。	【市】 道路拡幅 【学校】 (道路拡幅が完了するまで)通学路変更	検討中	